

## P25a 南天電波天文台の建設

福井康雄、小川英夫、水野 亮、小林和宏、長濱智生、大西利和、米倉覚則、尾林彩乃、河村晶子、肖可成、立原研悟、藤井泰範、山口伸行、加藤滋郎、早川貴敬、原淳（名大理）

南天電波天文台の建設を開始した。チリのラスカンパナス天文台内のアルカイーノ峰（標高2300メートル、南緯29度）に、名古屋大学から海上輸送した4メートル短ミリ波望遠鏡を設置する。工程は予定どおり進行しており、昨年10月末に解体された同望遠鏡は検査・梱包を経て12月初旬神戸港より船積みされ、1996年1月上旬チリ・バルパライソ港に到着した。2、3月中に望遠鏡は現地で組み立てられ、試験観測を経て、7月から本観測を開始する予定である。講演では、現地の組み立て作業の様子を報告する。